※令和４年度以降入学生用

学校番号	412

令和４年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　現代の国語」　（三省堂）						
副教材等	語彙力をつける入試漢字 2600（桐原書店）思考の論理スイッチ１（浜島書店）プレミアムカラー 国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校では、受け身の学習でなく、自ら主体的に考え、取り組むように心がけましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

○　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

○　論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	目的や意図に応じて、必要な情報を相互に関連付けながら理解を深め、考えを表現したり、批評したりする。	必要な情報を相互に関連付けながら文章等を解釈し、そこから適切な考えを形成しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	本との付き合い方について考える。 ［教材］塩一トンの読書	a：実社会関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話／聞]：自分の考えが的確に伝わるよう、、自分の考えを明確にするとともじ、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c：読書の意義と効用について進んで理解を深め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、学習課題にそって発表しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	比較という方法を理解し、文化について考える。 ［教材］水の東西	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、自分の考えが的確に伝わるよう、粘り強く根拠の示し方や説明の仕方を考え、課題にそって表現の仕方を工夫して書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	「選べる社会」の出現がもたらした新たな問題について考察する。 ［教材］「選べる社会」の難しさ	a：・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c文章の効果的な組立て方や接続の仕方について進んで理解を深め、文章の内容や構成、論理の展開などについて的確に捉え、要旨や要点を把握し、学習課題にそって文章を読み比べ、自分の考えを深め、批評しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
2学期	言葉への関心を深める ［教材］辞書は生きている	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増 し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	異文化理解に欠かせない視点を獲得する ［教材］「見える文化」／「見えない文化」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 c：・主張と論拠などの関係について理解し、内容や書き手の意図を解釈し、意見文を書き、進んで自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3学期	ディベートについて理解を深め「論理の力」について学ぶ ［教材］マイクロディベートとは	a：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 b[話／聞]：自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。 エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。 c：ディベートの立論を作成し、実際にマイクロディベートを行う。マイクロディベートをふまえて、意見文（八〇〇字程度）を書く。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	機械の認識と人間の認識の違いを考える ［教材］人間にできて機械にできないこと	a：推論の仕方を理解し使っている。情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、学習課題にそってレポートをまとめ、進んで文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	発言者の意図を的確に捉え、問題を共有する。 ［教材］対談「国際貢献」ではなく「国際協力」である	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。((1)カ) b[読]文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。： c：「対談」という表現形式の特徴について、具体的に指摘し、また、対談の内容に即して説明する。	ワークシート 定期考査 小テス	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間